

わいわい 通信



お品書き

●高齢者グループホームわいわい
開所10周年記念に寄せて



新たな年を迎えると同時にグループホームわいわい10周年お祝いの会を執り行うが出来ました。日頃より御協力いただいております地域の皆さま、ボランティアの皆さま、御家族様には厚く御礼申し上げます。

今年目標の一つとして、わいわいのお年寄りの皆さまには日常的な外出を楽しんでいただきたいと思います。目的を持った外出だけでなく、外のおいしい空気を吸ったり、鳥のさえずりを聞いたり、道端に咲いているお花を摘んだり・・・と、ちょっとした心の潤いをスタッフと共に感じたいと思っています。

今後とも、どうぞ宜しくお願い申し上げます。
(宮田 圭子)

あんしん なっとく じゅうじつ



の生活

グループホームわいわいの歩み ～一部抜粋～

- 2002年 9月16日 上棟式～おもちまき
- 2002年12月22日 竣工式、市民共同発電所
「てんとうむし2号機」設置
- 2002年12月24日 開所
- 2003年 7月 共同募金会の受配により
福祉車両わいわい号納車
- 2003年12月 わいわい1周年祭
- 2005年 3月 スタッフ木村さんの絵、展覧会出展
- 2005年 4月 テラス設置
- 2005年10月 初の一泊旅行～憩いの里湖西
- 2006年 8月 運営推進会議の設置
- 2006年 9月 湖南省GH合同運動会
- 2006年12月 忘年会～ウェルサンピア伊賀上野
- 2007年10月 湖南省GH合同運動会
- 2007年11月 旅行～ウェルサンピア滋賀
- 2008年12月 わいわい5周年&忘年会
～サンマルク守山
- 2008年12月 旅行～雄琴天然温泉ことゆう
- 2009年 5月 吉姫神社大例祭～スタッフが神輿を担ぐ
- 2009年10月 旅行～ホテルピアザびわ湖(大津)
- 2010年 2月 2階玄関スロープ設置
- 2010年10月,11月 旅行～2班に分かれてかんぼの宿
彦根、ホテルニューオウミへ
- 2011年 1月 浴室改装工事
- 2011年11月 旅行～2班に分かれて信楽へ
- 2012年 3月 スプリンクラー設置
- 2012年 8月 法人設立10周年記念の集いに参加
- 2012年10月,11月 旅行～3班に分かれて日野へ
- 2012年 9月 もうすぐ100歳を迎えられる入居者様が
総理大臣から表彰される
- 2012年12月 わいわい10周年を迎える

【他にも・・・】

- ★法人主催イベント(おいでやコンサート、夏祭り、お餅つき)に参加
- ★季節行事の苺狩り、地域の納涼祭へのお出かけや外食
- ★ボランティアさんの協力を得て、歌&手品、玉すだれ、落語のお囃会、芋煮会
- ★会議は、月1回:運営会議、あんばいいんかい、スタッフミーティング、偶数月:運営推進会議を開催

私がわいわいにきて、7回目の冬を迎えました。高校1年生のころからお世話になり現在、大学4年生となりました。初めは何をしていいのかわからず、挫けそうな時もありましたが、一緒に働いていた同級生やスタッフのみなさん、わいわいのお年寄りが支えてました。



働きはじめてから沢山の出会いと別れがありました。その一つ一つが大事な思い出であり、一生の宝物です。



これからもその大事な宝物を胸に、お年寄りの孫で居られるような存在で頑張っていきたいと思っています。



最後になりましたが、わいわい10周年おめでとうございます。

～わいわい開所当初から

スタッフで頑張っている木村佑介さんを紹介します～

「南花から歩いて来ています」

わいわいに来たら？「清拭タオルを作ります」「玄関掃き」

「ごみ集め」…順番を決めて、コツコツ頑張っています。

得意な仕事は？…「モップかけ！お皿洗いも」「全部好き」

わいわいのお昼で好きな物は？

「サラダ、ラーメンも好き」

南花ではカレーライスが好きだそうです♪

休みの日は？「音楽を聴いています」「キンキキッズ、グレイ、イエローモンキー、TMレボリューション！（歌手の名前）」

…いつも嬉しそうに話をしてくれます。

最後に一言お願いします。「これからも頑張ります」



〈編集後記〉

私事ですが、淡海ネットワークからの派遣の緊急要員時代から数えると、わいわい勤務9年半となりました。福祉の職場での経験がなかった私にも、わいわいは明るくあたたかいお家であったからこそ、ここまで続けてこられたのだと思っています。ありがとうございます。

今回、10周年お祝いの会をきっかけに、OBスタッフの方々と連絡を取る機会に恵まれました。OBスタッフの皆さんにとっても、わいわいは今でも大切な場所で、皆さんそれぞれの思いを持って今もわいわいを見守って下さっていました。とても嬉しいことです。これからもわいわいは係わる方々みんなのお家であって欲しいなと思っています。

～特集号発行にあたり、ご協力いただきました皆さま本当にありがとうございました。

(みつひ)

お問い合わせ NPO法人事務局 TEL 0748-60-2903 FAX 0748-60-2907

発行：特定非営利活動法人NPOワイワイあぼしクラブ

「グループホームわいわい10周年に寄せて」

湖南省地域包括支援センター 寺元 としよ

「わいわい10周年」おめでとうございます。

関係各位の日々のご尽力とご努力に敬意を表します。

介護保険制度が始まって13年目となり、介護の社会化、普及、啓発についてはかなり進んできたと思われまます。

しかし、サービスの量は増えても、あたたかいサービス、あたたかい施設でないと、人間は幸福な人生を全うすることはできません。私はグループホームわいわいの運営推進会議の委員として、2ヶ月に1回おじゃましています。

わいわいでは、いつもあたたかい雰囲気、おだやかな時間が流れています。訪れた者もホッとします。

看取りもされたとお聞きし、その方はわいわいに入居されて本当によかったと思います。これからも地域の一家族として、この雰囲気がずっと続きますようお願いしたいと思います。



OBスタッフ 宮島 頼子

私の福祉のスタートはわいわいでした。福祉には全く携わった事のない私には、当初「普通に暮らして頂く」という言葉の意味が理解できませんでした。それは当り前のことなのに、ボケてしまったら普通に扱ってもらえない実態があり、そして私自身も無意識にそうしていた事を溝口さんに教えて頂きました。開所当初「夜間、階段から落ちてしまわれるかもしれないので、降りられないようにたんすを置いたらどうでしょうか」と言った私が今は懐かしいです。

ご縁があって一緒に過ごさせて頂いたお年寄りのこともスタッフのことも、思い出すのは自然な生活の中の笑いです。

私にとってわいわいは、人として大切な多くを学ばせてもらったところであり、今現在も『その方の思い』を置き去りにしないケアを心がけることを忘れないでいられることも、出発地点がわいわいであったからだ感謝しています。

開所10年を迎えられたことに、心よりお祝いを申し上げます。



『10周年に寄せて』

担当理事 森本信吾

早いもので、10年が経過しました。改めて建物を見てみると、日焼けした外壁や雨水のシミなどがうかがえます。そこで暮らすお年寄りも入れ替わりはありますが、「随分お年を召されたなあ」というふうに感じられます。

最初の頃わいわいは、施設ではない「暮らしの場」として誕生しましたが、お年寄りは移り住まれてしばらくの間、環境に慣れずにそわそわされ落ち着かれず、またスタッフも経験が浅く、一生懸命ではありますが十分な対応ができませんでした。そして現在、スタッフの入れ替わりはあったものの、お年寄りの随分馴染まれた生活の様子がみてとれます。



また、スタッフ自身は意識していないと思いますが、溝口理事長の理念だけは、脈々と受け継がれていると思います。

今後も「普通の暮らし」をテーマに関わりを持たせてもらいながら、人生の晩年を過ごす場として「グループホームわいわい」に移り住んで来られた方との出会いを大切にしていきたいと思います。

＊＊わいわい10周年のお祝いに寄せて＊＊

中須加 かの娘 檀上 朝子



わいわい設立10周年、おめでとうございます。

あっ！という間の10年の様な気がいたします。

当時、わが母は大阪城近くでひとり暮らしをしておりました。兄嫁が心を込めて用意した食事は冷蔵庫に集合し、残飯だけがふえ、母の体重は30キロをきり痩せておりました。平成14年の年末に“グループホームわ

わいわい”が建つと聞き、建築中の場所に足しげく見物に来ておりました。当時のホーム長さんにもお会いし、《大阪まで面接に行きます》と言ってくださった時は本当に嬉しかったです。

当時の母は、認知症が進行しており、毎夜中になるとおにぎりを50個作り、（お供えする）と言いながら外にふらふら出かけて行くのです。又、朝は朝で、近所のパン屋さんでアンパンを20個買い、近所に配るのです。兄は、にぎり飯を見るのも嫌だと肩を落としておりました。やっとのことで、母の生活をわいわいに移し、兄姉たちは、代わり替わり顔を見せに来てくれたのが昨日のような気がします。利用者さん、わいわいのスタッフにも出会いがあり、別れがあり、10周年を迎えられます。階段の一段一段や、あの椅子このイスにもたくさんの思い出があります。母の10年は、わいわいの10周年です。この3月で、母は100歳を迎えます。穏やかな顔で皆さんと話をしている母を見るのが大好きです。わいわいで生活があればこそだと、又、感謝を致しております。利用者様、ご家族様、スタッフのみなさまの笑顔がますます輝きますようにお祈りをし、これからもよろしく願いいたします。